



貧困や男女平等をテーマに討論

国連国際学校を訪問

ニュージャージー日本人学校

ニュージャージー日本人学校中等部(白井治久校長)は6日、ニューヨークの国連国際学校(UNIS)を訪れ、国際交流を行った。同校とUNISは毎年互いに訪問し交流をしている。今回は日本語を学ぶ7年生による「貧困」と「男女平等」をテーマにした持続

可能な開発目標(SDGs)についての発表の中でディスカッションをして考えを深めた。その後、英語と日本語での質問形式によるピクニックゲームやランチを通して交流を深めた。生徒たちは「SDGsについて詳しく知ることができた。詳しい数字や表があつて分かり

やすかった。世界にはたくさん貧しい子供がいると知つて助けてあげたい。食べ物が無駄にしないようにしたい」という思いを持つことができた交流であつた。